

より自然な対話で スマホ操作可能に

■イナゴ、エーアイと提携

コンピューターと“対話、しながら機械を操る技術を開発、販売するイナゴ（東京都港区）は、音声合成エンジンを手がけるエーアイ（東京都文京区）と業務提携した。

米グーグルの基本ソフト（OS）「アンドロイド」を搭載したスマートフォン（高機能携帯電話）向けに、人が話す言葉を認識し、最適な検索結果を絞り込めるアプリ「mia powered by netpeople（ミア パワードバイ ネットピープル）」に、エーアイの持つ高品質な音声合成技術を組み込むことで、

より自然な対話によるコンピューター操作を実現できるという。たとえば、「銀座のランチでフレンチのあるところ」と話しかけると、数秒で会話文を認識し検索を開始する。コンピューター側からの「予算は？」などの質問に答え、対話をしながら検索結果を絞り込める。グルメ情報はもちろん、乗り換え案内や天気予報、エリア情報といった検索をサポートする。

同アプリは、アンドロイド向けアプリなどを配信するサイト「グーグル・プレー」で配布し、無料で利用できる。

アフィリエイト（成果報酬型）広告収入のほか、車や家電メーカーへのOEM（相手先ブランドによる生産）製品の提供で事業拡大を目指す。